

# 一般社団法人日本産科婦人科内視鏡学会雑誌投稿規程

## 1. 投稿資格

本紙に投稿する産婦人科医は、共著者を含め本会の会員に限る。ただし、産婦人科医以外（他科）ならびに初期研修医を共著者として加える場合この限りではない。

## 2. 原稿内容

- ① 原稿は、本会の目的に関連のある総説、原著、症例報告、手術手技で未発表のものに限る。著者は「総説」「原著」は10名以内、「症例報告」「手術手技」は8名以内とする。二重投稿および同時投稿は禁ずる。なお学会時に発表した原著論文の場合は、“本論文の要旨は第〇〇回日本産科婦人科内視鏡学会において発表した。”と論文末に記載する。
- ② 個人情報保護法を遵守し個人情報の特定が可能になる情報や内容の記載は禁ずる。とくに症例報告においては患者のプライバシー保護の面から個人が特定されないよう、氏名、生年月日、来院日、手術日等を明記せず臨床経過がわかるように記述して投稿するものとする。また、対象となる個人からは文書で同意を得ることとし、その旨を本文内の「緒言」末尾に明記する。なお、必要に応じて同意文書の提出を求める場合がある。
- ③ 臨床研究に基づいた「原著」については、倫理委員会の承認を得ることとし、承認番号を本文内の「方法」末尾に明記する。
- ④ 本誌に投稿される場合には、「新規投稿時のチェック項目」を併せて提出する。

## 3. 原稿様式

- ① 記述は、和文または英文とし、和文は横書き、口語体、ひらがなを用い、現代かなづかいによる。タイトル、著者名、共著者名所属は英文を併記する。和文投稿であっても英文抄録を必ず記載するものとする。なお、提出原稿にはページ番号を下部中央に印字するものとする。
- ② 英文抄録は行間ダブルスペース250語以内とし、題名、所属施設名、著者名は250語に含めない。数字が文頭にくる場合と10未満の数字はスペルアウトが原則である。例外として、同種のものを3つ以上並記する場合や、“In our study, 9 of 42 patients were positive for CA125.”のように、“9”は42名の患者の一部であるため、10未満の数字であっても算用数字で書く。英文はNative checkを受けるのが望ましい。英文校正を事務局に依頼する場合は実費を著者負担とする。
- ③ 検索用語（キーワード）はすべて英語とし、3個以内とする。検索により目的の論文が確実に探し出せるように的確なものとするためMedical Subject Headings (MeSH, Index Medicus) <http://www.nlm.nih.gov/mesh/MBrowser.html> を参照すること。
- ④ 投稿論文は「総説」、「原著」、「症例報告」「手術手技」の4種類とし、その種別を明記すること。
- ⑤ 論文の制限数は和文1論文、原則として刷り上がり6頁（図表を含む）以内とし、超過頁ならびに特に費用を要する図表及び写真、カラー写真に対しては実費を著者負担とする。  
◇目 安◇ 1頁が全て文字の場合、1,560字／1頁×6頁=9,360字
- ⑥ 図表ならびに写真は稿末に一括してまとめ、符号（図・表・写真番号）とキャプションを記入し、かつ本文中に挿入すべき位置を明示する。
- ⑦ 図表のタイトル表記は、図のタイトルは図の下へ、表タイトルは表の上に表記する。
- ⑧ 外国の人名、地名等は原語、数字は算用数字とする。学術用語および諸単位は、それぞれの学会所定のものに従い、度量衡はメートル法により、所定の記号を用いる。単位、記号は、m、cm、mm、 $\mu$ m、g、mg、 $\mu$ g、l、ml、pH、N、M、Ci、mCi、 $\mu$ Ci などとする。数字と単位の間には半角スペースを置く。
- ⑨ 本文中の数字は算用数字を用いる。
- ⑩ 文献は次の形式により、末尾に一括記載し、本文中では引用部位の右肩に文献番号<sup>1)2).....</sup>を付ける。原則として、原著の場合は著者名を3人まで記載する。それ以上の場合は筆頭者のみとし、他は「他」を付して省略する。和文誌の雑誌名は医学中央雑誌の略誌名に、欧文誌の雑誌名はIndex Medicusによる。なお、文献は下記のように表記する特に号数を必要とする場合は、巻数

と頁数との間に入れて括弧で囲む。インターネット上からの引用の場合は、著者名、題名、年次などの表示されている情報を記載する。ウェブサイトの場合は、そのURLとともにアクセスした日を明記する。

- a. 雑誌の場合  
著者名：題名、誌名、年次；巻数：頁数.
- b. 単行本の場合  
著者名：題名、書名、年次；頁数、発行所.
- c. インターネットからの引用の場合  
著者名：題名、年次；出典あるいはURL（最終アクセス日）

◇記載例◇

- ◇ 杉本修、植木実、佐野隆：子宮内膜症臨床の最近の動向、産婦世界、1981；33：1349-1356.
- ◇ Lin BL, et al. : Three-contrasts method : An ultrasound technique for monitoring transcervical operations. Am J Obstet Gynecol 1987 ; 156: 469-472.
- ◇ Siegler A. : Operative Laparoscopy. In Laparoscopy (ed.J.M.Phillips) ,1977 ; 130,Williams & Wilkins Co., Baltimore.
- ◇ Hajenius PJ, Mol F, Mol BW, Bossuyt PM, Ankum WM, van der VeenF : Interventions for tubal ectopic pregnancy. Cochrane Database Syst Rev 2007; (1) : CD000324
- ◇ 日本産科婦人科学会: 医学的適応による未受精卵子および卵巣組織の採取・凍結・保存に関する見解.  
[http://www.jsog.or.jp/ethic/mijyuseiranshi\\_20140417.html](http://www.jsog.or.jp/ethic/mijyuseiranshi_20140417.html) (最終アクセス日2016年2月1日)

⑪ その他参考文献記載上の注意

- ◇ 引用部分の巻数・ページ数表記は半角英数表記とする。
- ◇ 著者名（英語表記）については、イニシャルではなく、フルネームで記載とする。
- ◇ 引用元が連番で3文献以上ある場合、引用部分につける参考文献番号は、次の表記に統一。例：1から5までを引用の際は「<sup>1)2)3)4)5)</sup>」と表記せず「<sup>1)-5)</sup>」と表記
- ◇ 修正再投稿時には、査読者コメント毎に対応結果を表記すると共に、修正箇所はアンダーライン、又は朱書き等で把握可能な対応を行い提出する
- ◇ 文章・図・表は原則としてオリジナルのものを使用する。（転載の場合は必ず掲載許可をとる）

#### 4. 倫理

論文の投稿にあたっては、「ヘルシンキ宣言」、文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、および外科関連学会協議会「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」などの倫理指針、その他、国や施設等の倫理指針を遵守する。臨床研究については、倫理委員会の承認を得て、新規投稿時チェック項目に施設内外倫理委員会の承認済みであることの報告が必要である。また症例報告など患者情報の記載がある論文については、個人情報に十分に配慮し、患者が特定されないように留意する。編集委員または査読者より本項目について疑義を指摘された際は、著者より適切な対応がなされなかった場合は論文が不採用となる。さらに、二重投稿・剽窃・盗作・虚偽申請など論文投稿に関連した不正行為が明らかになった場合は、下記の罰則の一部、又は、全部が適用される。

- ① 当該論文の不採用、または、掲載取り消しとその通知
- ② 筆頭著者ならびに責任著者の本会学術雑誌への1年間の投稿禁止
- ③ 責任著者、筆頭著者の所属長、および二重投稿先への通知

#### 5. 著作権

本紙に掲載された論文の著作権は、日本産科婦人科内視鏡学会が有するものとする。投稿の際に、筆頭著者および共同著者全員が署名した著作権譲渡同意書を提出する。

#### 6. 論文採否

論文の採否は、査読者の意見を参考にして編集会議で最終決定し、異議や再投稿は認めない。

また原稿は、編集方針に従って加筆、削除、修正などを求める場合がある。

#### 7. 投稿費用

投稿論文1題につき、手数料（郵送など）として¥5,000円を請求に基づき支払うものとする。事務局へNative checkを依頼する場合は、ワード数200までを¥4,000円、200を超える場合は¥5,000円を支払うものとする。別刷の実費は著者負担とし、希望数を編集部に伝える。別刷は10部¥5000円より、10部単位とする。印刷費用はページ単位とし、モノクロは1枚¥5000円、カラーは1枚¥15,000円とし、採択通知への返信にページ毎の希望をコメントとして記載する。

#### 8. 投稿方法

論文投稿は全てEditorial Manager（電子投稿・電子査読システム）より行う。

#### 9. 利益相反

論文投稿に際し、すべての著者は利益相反状態の有無を論文末尾、謝辞または引用文献の前に記述し開示すること。なお、利益相反状態は論文に下記の如く記述する。

〔例1〕利益相反状態を有する場合

“〇〇〇〇は本論文に関連して△△株式会社より研究費を受けている。その他の著者は開示すべき利益相反はない。”

〔例2〕利益相反状態を有していない場合

“すべての著者は開示すべき利益相反はない”

## 新規投稿時のチェック項目

一般社団法人日本産科婦人科内視鏡学会編集委員会  
委員長 村上 節 殿

論文表題： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

筆頭著者氏名： \_\_\_\_\_

責任著者氏名： \_\_\_\_\_ (以下の資格に該当あれば✓)

日本産科婦人科学会専門医       日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医

項 目	該当に○をお願いします		
	はい	いいえ	
① ヒトを対象とした臨床研究の場合、ヘルシンキ宣言の精神を遵守している	はい	いいえ	
② 本論文を提出する際の、施設内倫理委員会承認の有無	有	無	不要
③ 倫理委員会承認番号を本文内（「方法」）に記載している	はい	いいえ	
④ 症例報告における患者同意取得の有無	有	無	
⑤ 患者同意取得を本文内（「緒言」）に記載している	はい	いいえ	
⑥ 他誌への投稿	有	無	
⑦ 利益相反（COI）状態の記述	有	無	
⑧ 学会発表の本文内の記述	有	無	
⑨ 日本産科婦人科内視鏡学会学術集会発表（口演またはポスターいずれも）	有（第 回）	無	
⑩ 文献記載方法（投稿規定第3項 原稿様式）の確認	済	未	
⑪ 英文抄録の Native check （完了していれば、証明書添付）	済	事務局に依頼	未
⑫ 論文の主となる新規知見と分野における重要性について （以下に自由記述，200字以内）			

《論文の主となる新規知見と分野における重要性について》

---



---



---



---



---

2019/6/7 改訂

# 著作権譲渡同意書

一般社団法人 日本産科婦人科内視鏡学会 殿

## 論文名：

標記論文が日本産科婦人科内視鏡学会誌に掲載されるにあたり、日本産科婦人科内視鏡学会雑誌投稿規定5項に従い、その著作権を日本産科婦人科内視鏡学会に譲渡することに同意します。また、掲載された論文がオンライン化された際には、本論文がJ-STAGE およびメディカルオンラインに掲載されることを承諾いたします。

署名年月日（西暦）

筆頭著者/署名 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

共著者/署名 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

共著者/署名 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

共著者/署名 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

共著者/署名 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

共著者/署名 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

共著者/署名 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

共著者/署名 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

共著者/署名 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

共著者/署名 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)